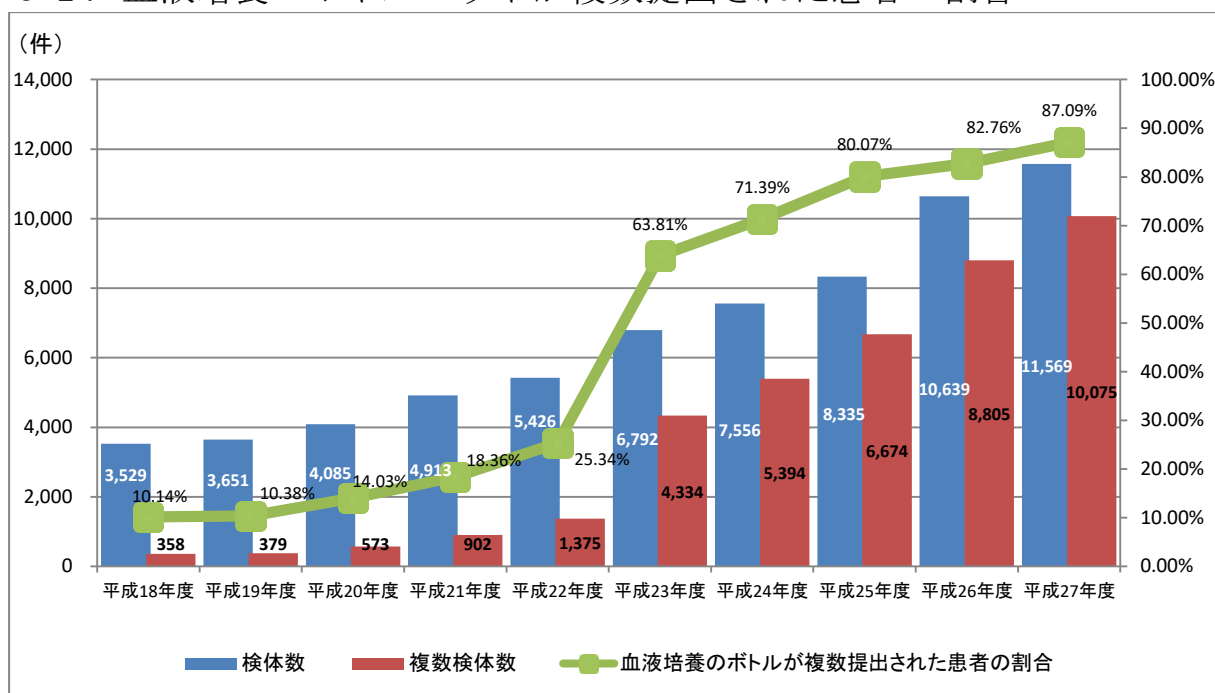


9 1. 血液培養のボトルセットが複数提出された患者の割合



血液培養検査は、敗血症(菌血症)の原因菌を特定するなど、診断において重要な検査項目である。しかし、血液培養検査では皮膚の常在菌が感染の原因菌となる場合もあり、検出菌が敗血症の起炎菌かコンタミネーション混入によるものであるかを区別するために 2 セット以上の検査が推奨されている。

正確な検査結果を得るために、当院での 2 セット以上の血液培養検査の実施率は年々増加傾向にある。未熟児や採血困難者における 2 セット以上採血採取は困難であり、現状の 80% 以上は高い比率であると思われるが、他施設と比較してもまだまだ低率であると考えられる。血液培養検査を適切な診断に繋げるためにも 85% 以上の 2 セット提出を推奨していきたい。

データ提供 臨床検査部